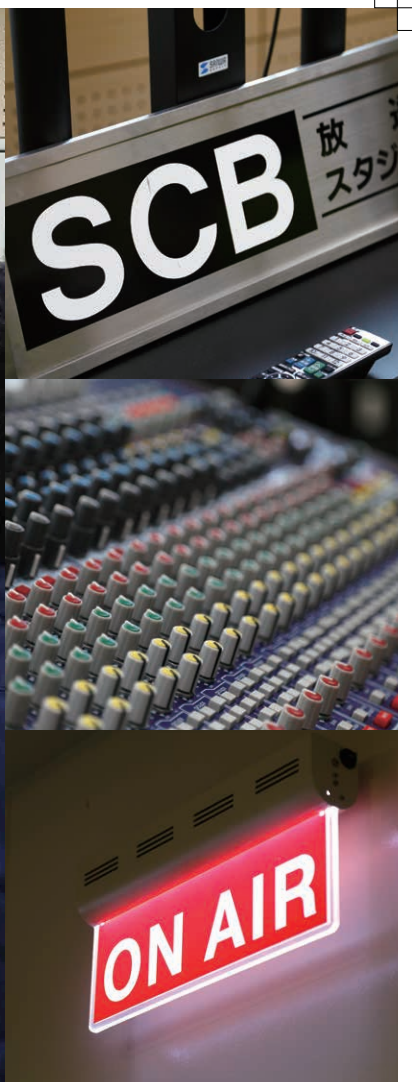




崇城大学 SCB 放送局

SOCIAL COMMUNITY BRAND



※キャンパススタジオ

街と人、企業と活動をつなぐ発信基地。 大学放送局が新たな可能性を拓く。

2014年、キャンパススタジオが開局して以来、行政や民間企業など多方面から注目を集めている崇城大学SCB放送局。情報学部の星合隆成教授率いるSCB(「Social Community Brand」の略称)放送局は、最新鋭の設備を完備。授業科目「メディア・コンテンツ制作入門・演習」では最新機器を用いてのプロ(TV局、ラジオ局)による講義、演習が行われ、最先端のアクティブラーニングを開講しています。また、実際のTV局やラジオ局のプロをパートナーとして迎え入れ、企画・制作から放送まですべて学生自身の手で行うワークショップを開催しています。2015年には「SCB放送局 新市街スタジオ」も開局し「地域活性化のプラットフォーム」として活動も一層広がりを見せています。



VOICE of STUDENT STAFF

放送スキルから仕事に対する心構えまで
大学にしながらプロ級の仕事ができる！

牛島 さん 情報学科 2年生 熊本県・第一高校出身

昔からテレビ関係の仕事を目指していた私。崇城大学へ入学する決め手になったのが、放送スタジオSCBの存在でした。現在は、熊本のバスケットボールチーム「ヴォルターズ」と協定を結んでいる学生制作番組「ヴォルターズch」で、チームとバスケットボールを盛り上げる番組を作って、ネット配信しています。カメラマンと編集を担当し、ホームゲームの取材、試合の動画撮影、ファンの方のインタビュー、さらには地域のバスケットボールイベントの取材などに駆け回る日々です。プロの方と一緒に、プロに近い仕事ができるのは、放送やメディアに興味がある人にとって恵まれた環境。さらに、広報や仕事に対する心得からスケジュール管理まで、社会に必要なスキルも、実践的に身につく場だと思います。私の将来の夢はテレビ局のディレクターになって、番組の企画や編集を行うこと。SCBでの活動を通して、視聴者を意識した番組作りのスキルを磨き、夢へと生かしていきたいです。

SCB放送局新市街スタジオを 拠点にメディア企業が集結！

2015年4月、熊本市中心部の新市街商店街に新設オープンした「崇城大学SCB放送局新市街スタジオ」は1Fに放送スタジオ、2Fにフリースペースを設けた多目的スポット。この新市街スタジオを拠点に、熊本朝日放送KAB、くまもと県民テレビKKT、J.COM、熊本朝日新聞、地元フリーペーパー「すばいず」、雑誌「ナッセ」などメディア企業9社が集結し、学生と連携した番組制作や紙面づくりを行っています。また、熊本市、合志市、NTT西日本、NEC関連企業、熊本信用金庫、医療機関、プロバスケットボールチーム「熊本ヴォルターズ」、市民団体の方々が新市街スタジオを拠点に地域活性化の活動を展開中です。その結果、SCBの学生メンバーが日テレ制作会社を始めメディア企業への合格を果たしました。

SCBで得た人との繋がりを糧に、 東京オリンピックで カメラマンを目指します！

柳原 さん
工学研究科 2年生
【就職先】
株式会社
日テレ・テクニカル・リソーシズ
熊本県
熊本西高校出身

取得した資格・免許
第1級陸上無線技術士



キーワードはプロとの連携 共同制作企画が続々と進行中

プロと連携した共同制作企画

- 熊日日新聞との月1回の紙面連載中
- FM桐生との月2回の番組放送中
- J.COMとの週1回の番組放送(4月スタート)
- くまもと県民テレビとの夢まちランドの番組放送
- 雑誌「ナッセ」の紙面連載
- ICT、農業、サブカルなどとテーマにした番組制作 など

進行中のSCBを用いたアクティビティ

- 熊本市MICE活用検討委員会(仮称)の運営
- 熊本市競輪場活性化委員会の運営
- NASAハッカソンの運営
- TED×Kumamotoの開催
- 電子情報通信学会九州支部100周年記念イベントの運営
- 電子情報通信学会SOJOランチの運営
- 防災ラジオドラマの制作(防災研究所からの受託事業)
- 大西熊本市市長と星合教授の対談記事制作
- 荒木合志市長と星合教授の対談記事制作 などその他多数



SCB放送局 新市街スタジオ / 放送中でも通みから見学できるオープンなスタジオです。

学生作成コンテンツは 多数のコンテスト入賞



テレビでおなじみの4局のアナウンサーがおすすめの本を持ち寄り、書評対戦で火花を散らすという「テレビ局対抗プリオバトル」でSCB放送局が優勝。



国連防災世界会議の防災コンテストにて、学生が制作したラジオドラマが見事入賞しました。